

九州新幹線西九州ルート 整備促進シンポジウム 2025 in福岡

～かもめ、その先へ～

入場
無料

要事前申し込み

新鳥栖～武雄温泉間の全線フル規格整備の実現が西九州地域にもたらす効果など、九州新幹線西九州ルートについての理解を深めるとともに、九州が一体となった気運の醸成を図るためにシンポジウムを開催します。

日時

2025年8月29日(金)

開演15:30～18:00(受付開始14:30)

会場

アクロス福岡
イベントホール
(地下2階)

福岡市中央区天神1丁目1番1号

定員

800名 ※先着順

プログラム

- ◆主催者挨拶 九州新幹線西九州ルート整備推進協議会 会長 森 拓二郎
- ◆来賓挨拶 長崎県知事 大石 賢吾 氏 ほか
- ◆基調講演

〈テーマ〉高速鉄道整備の
グローバルトレンドと日本の鉄道政策



京都大学名誉教授、富山大学特別研究教授
中川 大氏

1981年京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。工学博士。建設省、国土庁、東京工業大学、京都大学を経て2017年4月から富山大学副学長。2022年4月から現職。主な著書に、「整備新幹線評価論(2000)」、「Transport Policy and Funding」Elsevier(2006)など。

◆パネルディスカッション

〈テーマ〉全国新幹線ネットワークが
地方にもたらすもの

◇パネリスト

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科 教授 学部長 | 井上 英也 氏 |
| 富山国際大学 現代社会学部 観光専攻 教授 | 大谷 友男 氏 |
| 公益財団法人 地方経済総合研究所 総合調査部長 | 岡田 欣也 氏 |
| (株)リクルート ジャーナルリサーチセンター 研究員 | 松本百加里 氏 |
| 富山県 商工労働部 成長産業推進室 立地通商課長 | 北本 孝登 氏 |

◇コーディネーター テレビ長崎 常務取締役

大久保昭彦 氏

お申し込み

下記URLもしくは
右記の二次元バーコードからお申し込みください。

https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_558/index.do



締め切り

2025年8月20日(水)

※応募していただいた個人情報は本シンポジウム以外の目的では使用しません。

主催／九州新幹線西九州ルート整備推進協議会

共催／長崎新幹線・鉄道利用促進協議会

後援／(一社)九州経済連合会、九州商工会議所連合会

パネリスト



長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科 教授 学部長

井上 英也氏

1983年に全日空エンタプライズで人事や海外事業に従事。ナイキジャパン、カルフルー・ジャパン、日本ロレアル、コーチ・ジャパンなどで人事部門をリード。2016年から長崎国際大学で国際観光学科の教授を務め、2019年より長崎県観光審議会会長として観光振興に貢献。



公益財団法人 地方経済総合研究所 総合調査部長

岡田 欣也氏

1991年4月肥後銀行入行、公務部企画渉外グループ長、県庁支店長含め4カ店の支店長を経験後2025年4月より現職。M&Aシニアエキスパート(一般社団法人金融財政事情研究会認定)。



富山県 商工労働部 成長産業推進室 立地通商課長

北本 孝登氏

富山県出身。平成9年に富山県庁入庁。平成28年から3年間、商工労働部立地通商課企業誘致係長として企業誘致に取り組む。その後、移住・Uターン促進事業や人事業務を担当後、令和7年4月より現職。



富山国際大学 現代社会学部 観光専攻 教授

大谷 友男氏

1973年群馬県生まれ。広島大学大学院修了後、九州経済調査協会にて地域経済・社会に関する各種調査に従事。九州新幹線開業の影響について中長期的な視点で調査に取り組む。2021年より現職。経済地理学的視点から観光、交通に関する研究を行う。



(株)リクルート ジャーナルリサーチセンター 研究員

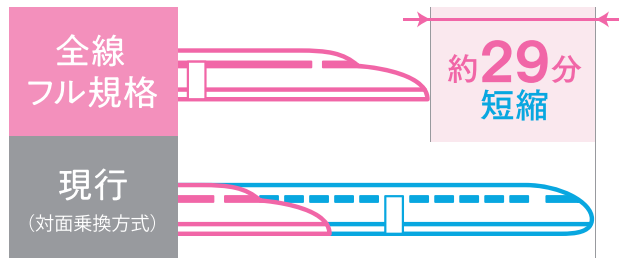
松本 百加里氏

インバウンドやDXに関する研究を推進。「インバウンド都道府県ポジショニング研究」「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」「生成AI活用による持続可能なインバウンド観光研究」など発表。上級ウェブ解析士。観光庁専門家派遣事業に専門家として登録。

全線フル規格のメリット

大幅な時間短縮効果！

○博多～長崎間の所要時間(最速)



約51分

1時間20分

リニア中央新幹線のルート



高度な
産業の立地

リニア中央新幹線との接続で
「西九州地域⇄東京」が
4時間圏内に！

お問い合わせ

九州新幹線西九州ルート整備促進シンポジウム事務局 TEL092-711-5491

(西日本新聞イベントサービス内)

(平日9:30～17:30)